



極寒の実験室

FOR ADULT

「女海兵の性奴隷改造実験に関するレポート」



○月×日

女海兵を捕らえる。
元気のいい、体つきのよい女だ。
海軍の将校のようだが、まあこいつが研究所の外に出られる日はもうない
のだから全く問題はない。ちょうど実験したいと思っていたテーマがあっ
たのでこいつを試してみることにした。



拘束を解きなさい！
クラウン

私にこんなことをして
ただでは済みませんよ！！

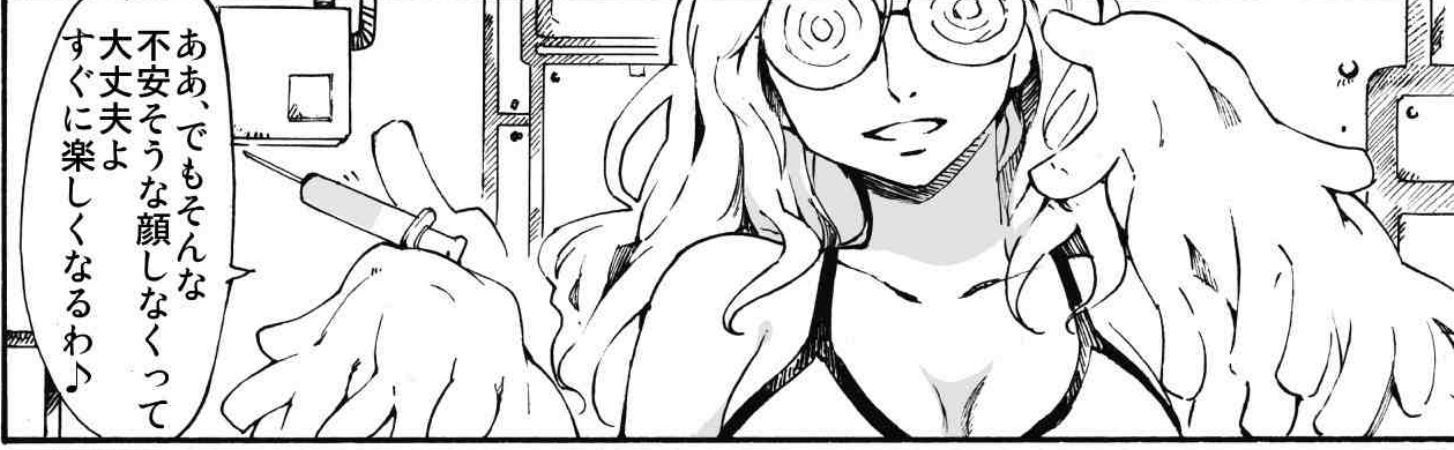
カチヤ

カチヤ

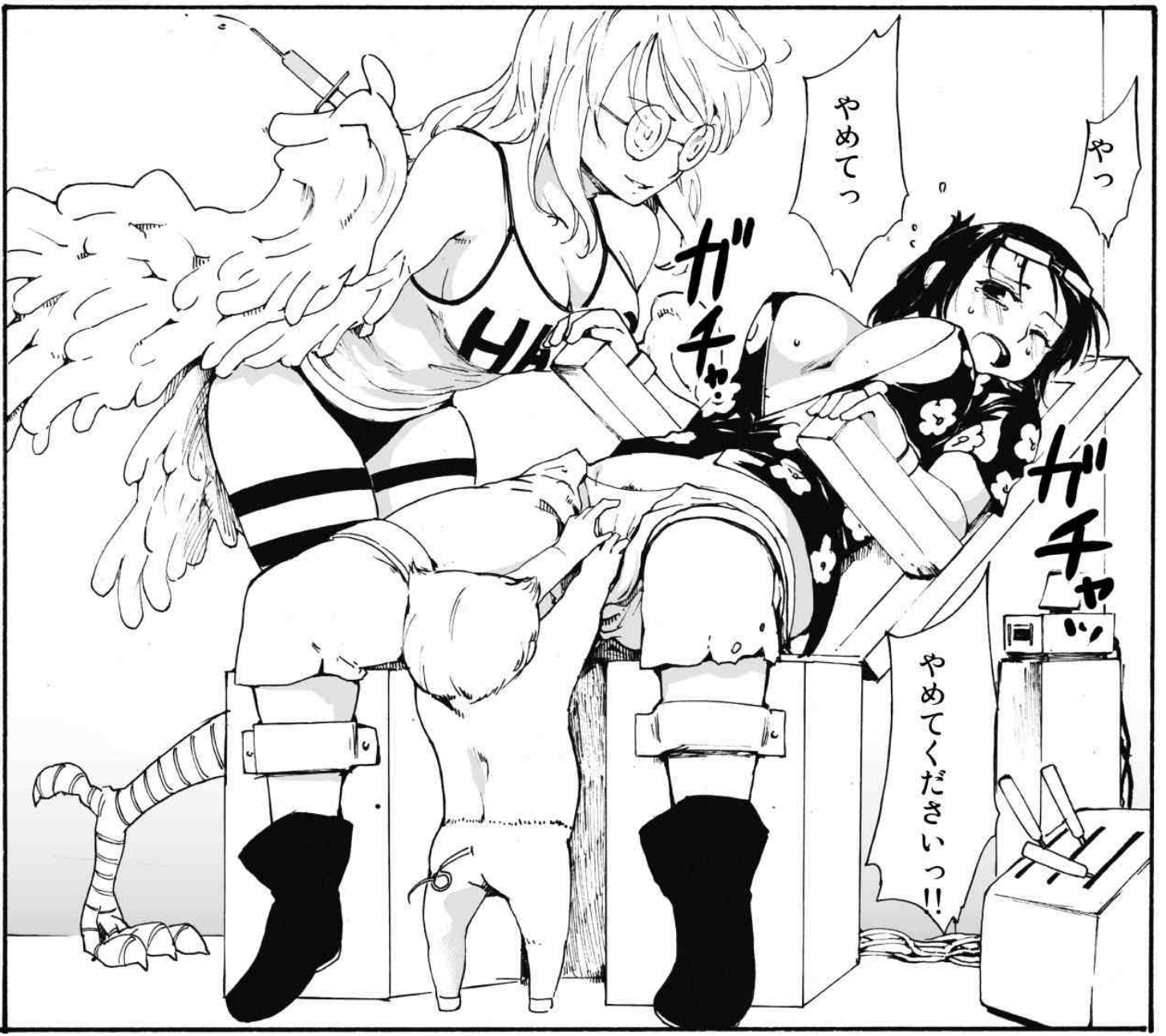




貴方は
これから私達の
モルモットになるの



ああ、でもそんな
不安そうな顔しなくて
大丈夫よ
すぐに楽しくなるわ♪

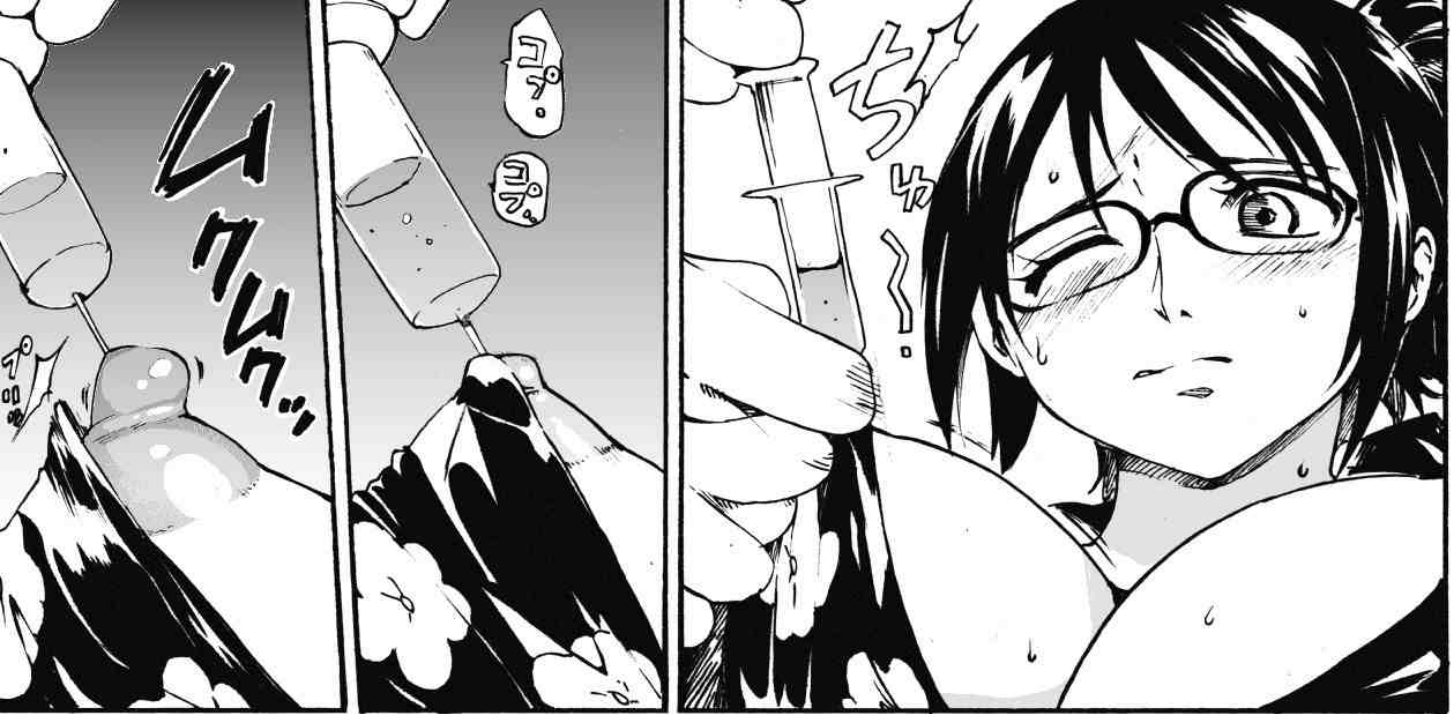


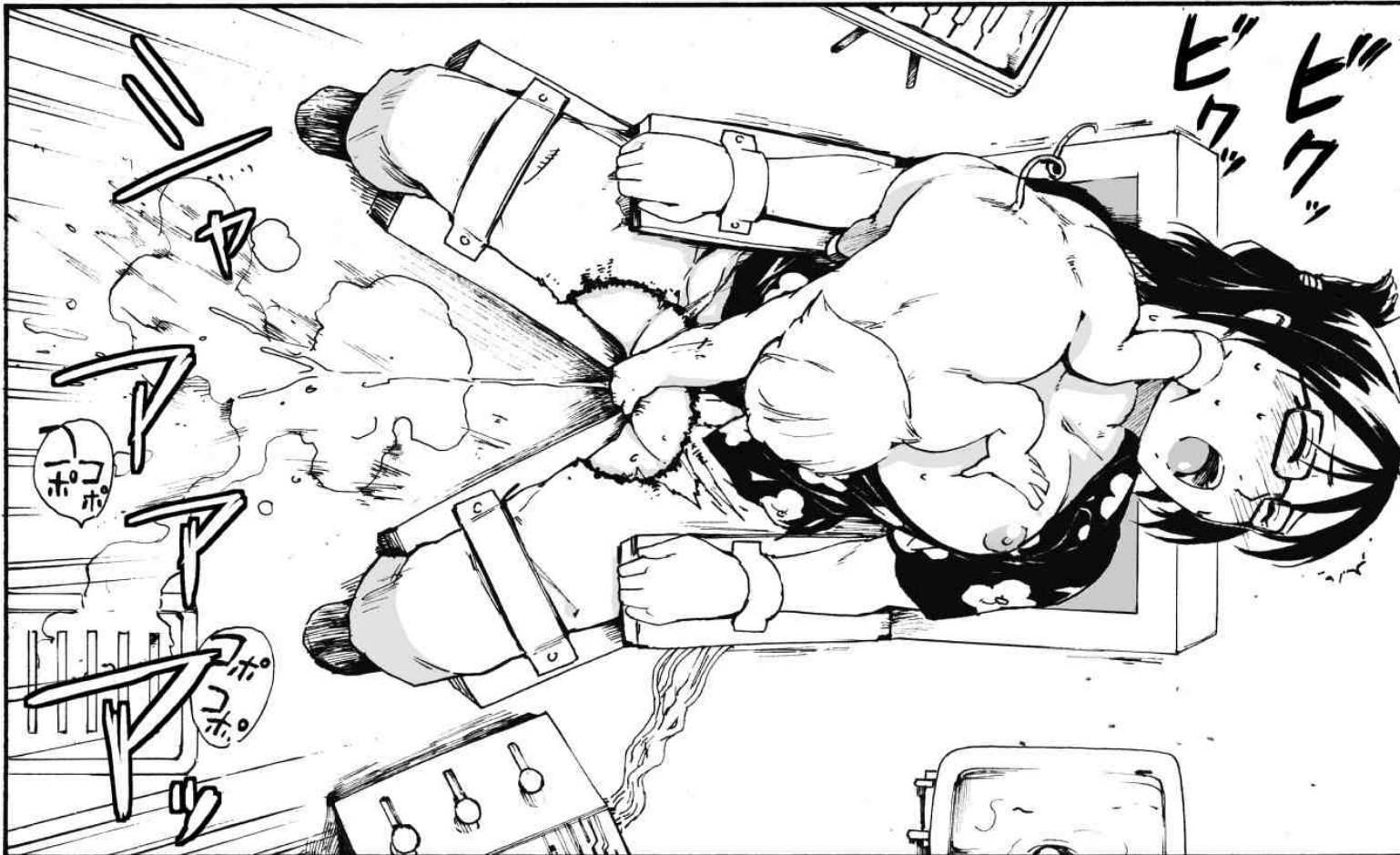
やめてっ

やっ

ガチャッ

やめてくださいっ!!







■月○日
半人半獣(馬)の男を
ガラスケースに入れて
数日観察する





俺らこれから
何日もこの中で
過ごすんだからよ

そんな
な!

狭い空間の中、
むせ返るような
半人半獣(馬)の体臭



力強い腕力で胸板におしつけ

匂いをかがすうちに



はあッ

はあ
だめ…なんで…?力が
はいらない…

やがて女海兵は疲労とともに
抵抗を弱めていく。そして…



女海兵のほうもまた
だんだんと
「その気」になって
いくのだ

お、おねがいです…

んふ
んむ…

せめて…

で…乱暴にはしない
はあ





女海兵は肉棒の感触によって正気を取り戻す。しかし...





深く差し込まないよう
気を使い、肉棒を往復させる
しかしそれは



半人半獣の男は
一応たしぎの
要求を聞いたようだ



たしぎの最も感じるGスポットを
丹念に責めあげることとなっていた

感じちやうつ♡

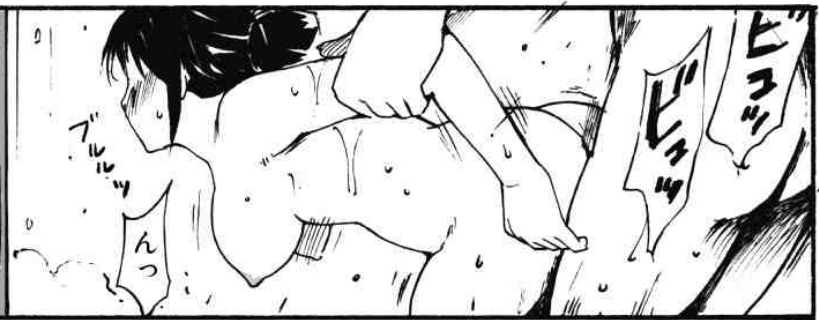
ダメっ私…
すごくっ



へへへ…たっぷりと
中に出してやったぜ…
こりゃこの女も妊娠
確定だな…!

ほれ…

半人半獣の男は女海兵の体を
少し持ち上げると、
まだ出しきらずに残っていた
精液をさらに注ぎ込む



二人の間に新たな感情が
芽生え始めたのだろうか
女海兵の方からも
ねだるようにしはじめた



綺麗に…しますね…



私の大事な何か
壊れた...



ホント...大きい

何度...
ゴレにイカされたらう

女海兵はそういうと
男の肉棒を愛おしいもの
のように、掃除しはじめた



気持ち...いいですか?

ああ、そうだ...
もっとしてくれ

もっと力強く
すするんだ

はい...
じゅるじゅるっ

あああ…すごい…
私のおまんこ…
ぐっちよぐちよに…
なっちやつてます…

アッ

アッ

ンンン

たっちよ

フッ

たっちよ

はああ…ダメ…
また…はしたないですが…
イッちやう…♡

タッ

タッ

すごい…これ…何度射精
しても…ガチガチのピンピンに
たつてますね…

ヌ
ル

ヌ

いくらか甘くして女海兵を
虜にしたのち、再び
男は女海兵を乱暴に
扱いはじめた

お願い…お願いですから

乱暴には…♡

始めの頃とは異なり
女海兵にマゾヒスティック
な性癖が生まれはじめて
いた

んあああああ♡

はははっ
串刺しだぜっ!!

どうだ?
気分は!!

びびる

びびる

やっ

ごやっ

こわっ

アッ

はッ

はッ

不浄の秘所を指定する言葉と裏腹に、女海兵はワクワクしているようだ

ようし今度はこっちを使ってやろう！

そ、そこは…

んほおおあ！！

こうして、ガラスケースの中で、馬男と女海兵は何日も体を交わしてすごしていた

はっ

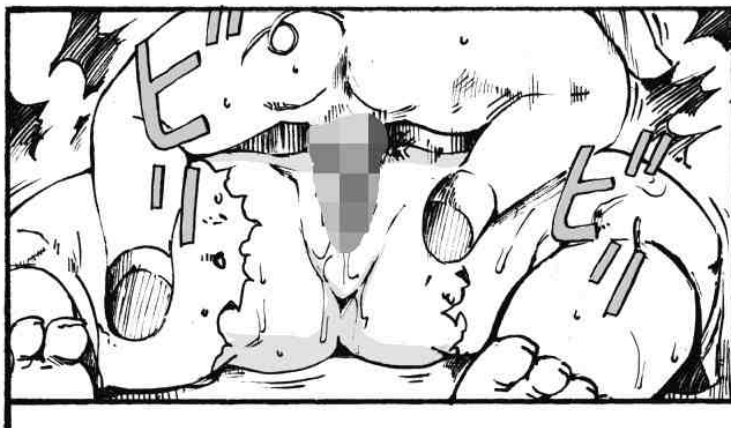
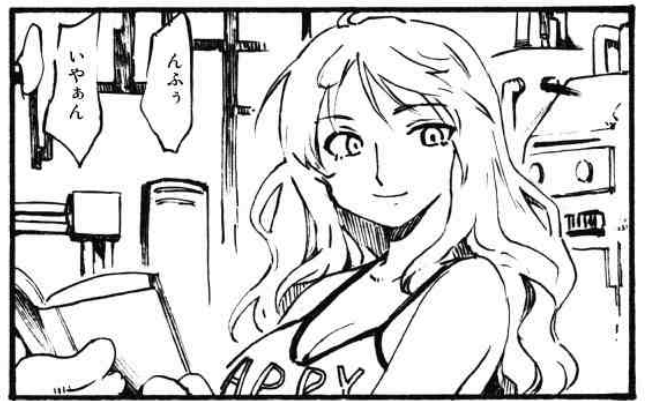
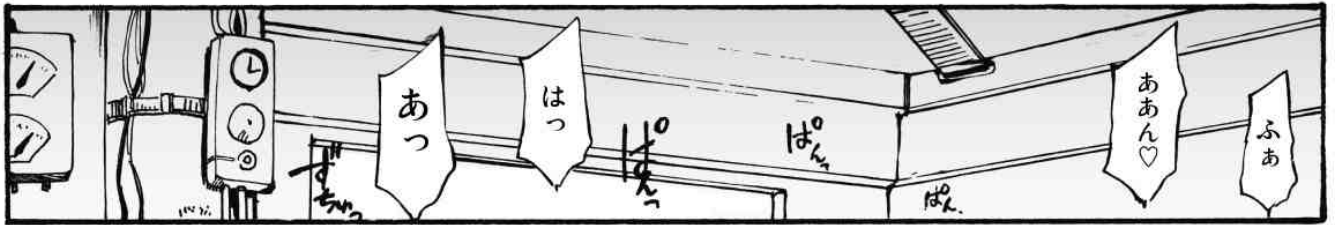
ああんっ直接肉の感触が伝わってくる…

汚い場所なのに…私…すごく感じちゃいます

あっ

んぷ…

んむ





□月○日
どのような半人半獣のやつらにも
あてがうことのできる性奴隷を
作り上げる事が出来れば
私の研究も捗るだろう



しかし、牛の半人半獣の男に、
この女海兵は耐えられるだろうか？
少々リスクだが試す価値はあるだろう



どうだ？
俺の肉棒は？
ギッチギチの
パンパンだぞ！

く、苦しい
ですうっ

ふ、ふと、い、い、ら
肛門…裂けちゃう…

アナルがいいのお…♡

ああ、でも…
アナルが…

ブルブル

ブルブル

全く問題はない！
半人半獣たちに輪姦させて
忠誠を誓わせるのに使うことにしよう。

この女海兵は一生を研究所の地下で過ごすのだ！



この女海兵に
もはや拘束は必要ない
なぜなら...

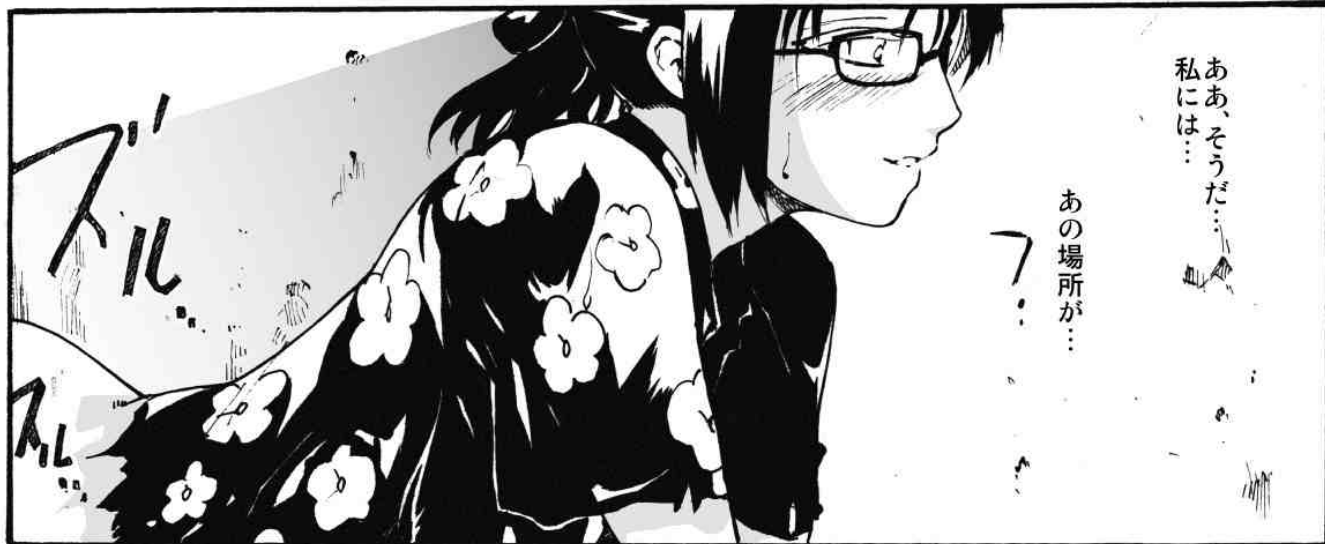
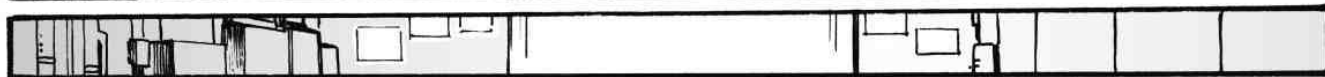
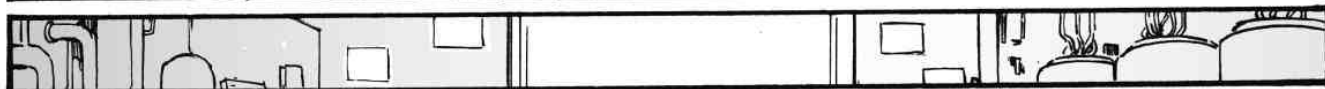


△月■日
実験のすべてを完了



こんな私に
帰る場所なんて...

外に出ることが
できたって...



ああ、そうだ...
私には...

あの場所が...

後記

ども、フジワラです。
今回かなり唐突にたしぎ本となりました。
結構好きなキャラなので描きたいな~と
思ってたわけでした。
ちょっとハードでダークなノリでしたが
いかがだったでしょうか。

ただちょっと完成してから見なおして見ると
思ったより自分の絵柄に引っ張られ過ぎた
ところあってファンの方には申し訳ない
作りになってしまったかも…と思うところが
ちらほらあったりして反省もしています。

ページ数の関係で実験はここまでですが
また機会があればやりたいところです。

それではまた
2012. 10. 18 藤原俊一

■奥付

「極寒の実験室」
著者: 藤原俊一
発行: 2012. 10. 28
印刷: PICO
e-mail: sh1@dream.jp

未成年者の閲覧・無断複製を禁じます。

